

# 第21回全国高等学校ロボット競技大会優勝!

熊本県立御船高等学校 マイコン制御部

全国高等学校ロボット競技大会は全国産業教育フェアの一環として開催されています。その競技内容は、開催地にちなんだ課題が設定され、その課題をクリアすべく全国の高校生が技術とアイデアを競い合う大会です。21回を数える今大会は愛知県で開催され、「輝け! 愛知の名城金シャッチー競技」と題され、3分間の競技時間の中、リモコンロボットがセントレアゾーンにある棒を渡し、モリコロパークゾーンで金シャチ(LED電球)を取り、名城公園ゾーンを自立ロボットに搬送してもらい、名古屋城の石垣(はしご)を登り、天守閣に金シャチを点灯させるというものです。渡し棒や自立ロボットのエリア、はしごにはロボットの移動を阻む障害物が設置され、競技の難度を上げています。

11月10日愛知県体育館で開催された全国大会には、各県予選を勝ち上がった143チームが集まりました。本校からは「御船Awith ポチ」と「御船Bwith タマ」の2チームが出場しました。大会は予選の上位36チームが準決勝へ、その上位12チームが決勝に進み、12チームで一斉に決勝を戦う形で進められました。本校A・Bチームとも予選は順調に勝ち上がりましたが、Bチームは準決勝で痛恨のミスが出てしまい敗退しました。決勝戦は強豪チームがひしめき、近年稀に見る激戦となりました。圧倒的なスピードでトップを走る昨年度優勝の球磨工業高校チームを本校Aチームが2位で追う展開となりましたが、ゴール直前、球磨工業にトラブルが出て、本校Aチームが逆転優勝! 悲願の通算8回目の優勝を達成することができました。

本校では、マイコン制御部ロボット班の17人の生徒がこのロボット競技に取り組んでいますが、「V奪還」を合い言葉に、この1年間失敗と改良を繰り返し、リモコンロボット・自立ロボット共に十数台の試作を重ねてきました。決勝戦で自己ベストに迫る49秒でパーフェクトゲームを達成したオペレータの操縦技術もさることながら、部品の改良など地道な努力を積み重ね、信頼性の高いロボットに仕上げた部員全員の総合力が勝因だったと思います。



障害を越え渡し棒を渡すリモコンロボット



42°の傾斜のはしごを登り金シャチを点灯